

堀金公民館だより

# 『常念の里』



第72号

発行

安曇野市

堀金公民館

TEL : 72-5796

令和8年 3月

堀金地域人口

男 4,218 (-10)

女 4,463 (-6)

計 8,681 (-16)

世帯数 3,632

(+2)

【3月1日現在】

## 常念岳の名前の由来

古くは乗鞍岳と呼ばれていました。常念岳の由来は、常念坊という修験者(しゅげんじゃ)が登った説をはじめ、複数の説があります。

1 山麓がある満願寺で、常に念仏を唱えていた坊さんの説。  
2 毎年暮れに不思議な常念坊という山姥(やまんば)が酒屋に酒を買いに来た説。

3 八面大王という鬼が坂上田村麻呂に退治され、鬼の由来の常念坊がこの山へ逃げ込んだ説。

4 山で討伐をしていた樵(しほ)があり、ある日、山の頂から念仏が聞こえてきた。それが延々と続くので、樵は山を逃げ出した。常に念仏を唱えるので、常念岳という名前がついた説など、いくつかの説がある。

ここでは、前記4について触れてみることにします。

英国人登山家のウォルター・ウェストンが1894年にこの山に登った時、その山に書かれている部分を紹介してみようことにします。

日本アルプスの登山と探検 ウォルター・ウェストン著 黒岩健訳  
第十二章

略

狩師の藤原が、常念岳の名前の由来を物語る話をして、楽しませてくれた。藤原は三人の中では一番年上で、背が高く、体が柔軟で、日本人として珍しい縮れ毛だった。通常、日本の山は、その固有の外観によって名付けられるか、あるいは、それを守り本尊とする仏の名前で呼ばれたりする。しかし、常念岳の名前は、このい

ずれにもあてはまらない。

「むかし、むかし」、一組の山盗人が、しばしば私たちがいるこの近くで野営することが多かった。山盗人は、獣の密猟ではなく、この辺の山にある銘木を盗伐する連中であつた。しかし、ある晩、頂上から吹き降ろす風にのつて、不気味な物音を聞いた。それは夕べの祈りで、僧侶の読経の声と鐘が混じつたものだった。何時間も、何時間も、それは続いた。とうとう良心の呵責に耐えられなくなった盗人たちは、そこから逃げ出して、二度と山へ戻らなかつた。

その話が知れわたると、畏怖の念に打たれた松本平の農民が、山にその名を付けた。そしてそれは、今も残っている。「常念坊」あるいは「常念岳」で、「いつも祈り続けている僧の山」と言う意味である。

その話を、うさん臭そうに聞いていた一人の男が、盗まれた材木同様、その名の説明はかなりこじつけである、と言つた。

略

さて、どの説でしょうか？

裏面に続く

堀金公民館

## 健康増進講座

“血官を元気に！ 輝く明日へ！”

2月27日に明治安田安曇野営業所長を講師に講座を行いました。

定員の20名が募集開始2日間であまり、健康志向の高さを伺うことができません。

循環器病の

講話の後、血管年齢等の測定を行いました。

「今回のように知識を得ることの大切さを感じた」等の感想が寄せられました。



血管年齢等の測定の様子

## アンコンシヤス

### ・バイアス

意図がないのに他者を傷つけてしまうことがあります。

アンコンシヤス・バイアス（無意識の偏見）です。

自分では気づかないうちに身についている見方や偏りで、

誰もが持っています。まずは、

「気づくこと」

「正しく知ること」、

そのためには、学びが必要不可欠です。

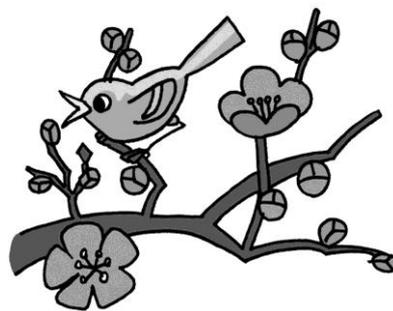
## 短歌

歌友に体操・農友・花友とわれの毎日変化の在りて

かがまりて草引くわれへ腰伸ばせ虹が出たよと夫が令図す

丸山 和加子

一志 みゆき



### 編集後記

“ウグイス”か

“メジロ”か

梅の花が咲くころ  
「ホッホケキョ」と鳴く鳥、ウグイスです。うぐいす色といわれて思いうかべるのは「うぐいす餅」などの色彩ですが、実際のウグイスの羽色は緑よりも暗緑茶色です。メジロという鳥は、大きさもウグイスに近く、体も緑色ですから、しばしばウグイスと誤認されています。

【朴風】

堀金

### 《4月の公民館事業予定》

- 2日(木) 堀金子ども会育成連絡協議会
- 6日(月) 堀金公民館サポート会議
- 9日(木) 地区公民館役員会
- 10日(金) 常念フィスティブル実行委員会幹事会②
- 11日(土) 第2回息吹コンサート
- 14日(火) 堀金地域人権教育推進協議会
- 15日(水) 子育てサークル「常念っ子」①
- 23日(木) 童謡唱歌心の歌を歌おう①